氏名	**松 浦 求 樹**
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 乙 第 2599 号
学位授与の日付	平成 5 年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	**肺癌細胞における In Vitro BrdU (Bromodeoxyuridine) 標識率の検討**
論文審査委員	教授 赤木 忠厚　教授 木村 郁郎　教授 折田 薫三

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

Bromodeoxyuridine (BrdU) は，thymidine類似物質でS期の増殖細胞のDNA上に取り込まれる。この特性を利用し抗BrdU抗体を用いたin vitro BrdU標識法で，原発性肺癌89例のBrdU標識率 (Labeling Index：L.I.) を算定し，腫瘍細胞の増殖能と病期分類との対比等検討を加え，臨床への応用を試みた。

結果，腺癌においては分化度や病期を規定する各TNM因子とBrdU標識率に有意差を認め，病期分類と腫瘍細胞の増殖能に相関が見られた。しかし扁平上皮癌26例では腺癌51例よりも有意に高いBrdU標識率を示したものの (Sq：Ad，13.55±4.2%：6.87±4.3%)，分化度や病期とは全く相関が見られなかった。また16例の小型肺腺癌においては，早期癌と進行癌とで有意差を認め，BrdU標識率6%を越える症例の60% (3/5例) が進行癌という結果であった。以上より，BrdU標識率は肺腺癌における悪性度をある程度反映し，小型肺腺癌の進行度の判別や予後の判定に役立つ可能性が示唆された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はIn Vitro Brd U標識法を用いて，原発性肺癌における腫瘍細胞の増殖能と病期分類との関連性について研究したものであるが，腺癌において各TNM因子とBrd U標識率の間に有意の相関性を認めており，今後の臨床応用が期待されるものとして価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。